

日本の財政運営：展望と課題

宮本弘暁

一橋大学経済研究所

2026年9月1日

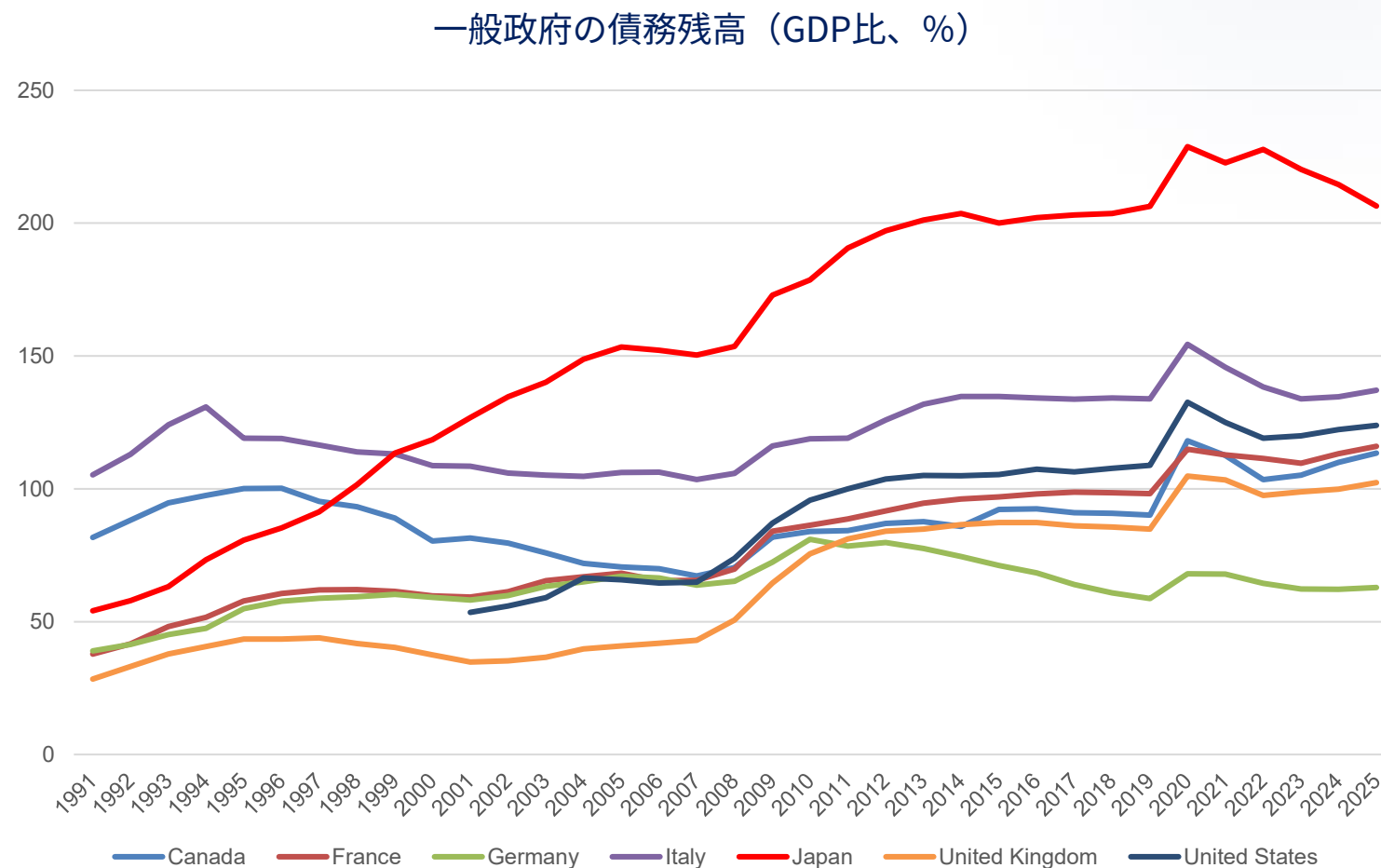
※本スライドの内容はすべて個人の見解であり、所属先の公式的な見解を示すものではありません。

論点

- ✔ 日本の財政は持続可能なのか
- ✔ 財政政策にはどれほどの成長効果があり、今後何を担うべきか

日本の政府債務残高は大幅に増加

- ✓ 2000: 119%
- ✓ ピーク: 229% (2020)
- ✓ 2025: 207%



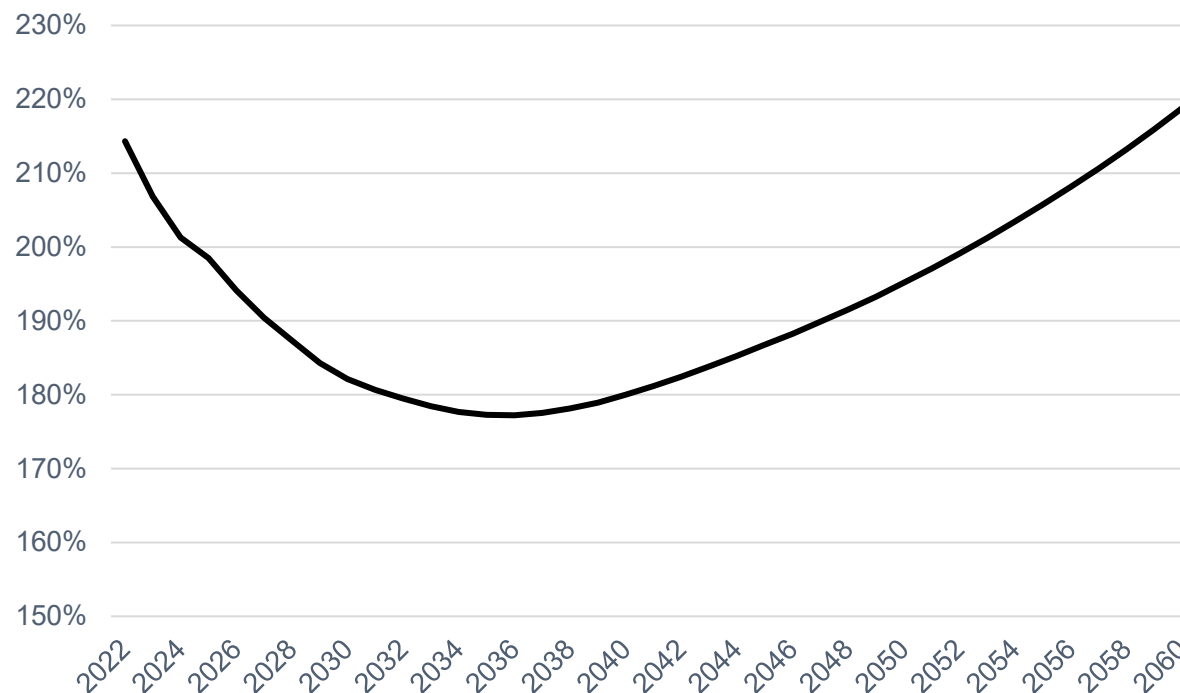
出所: IMF

なぜ「財政危機」は起きなかったのか

- ✔ 世界金融危機後、多くの研究が「日本の財政は持続可能でない」と警告
- ✔ しかし、実際には財政危機は起きていない
 - 消費税率の引き上げ、緩やかな景気回復、低い金利負担
 - ただし、環境は大きく変化。インフレ・金利のある世界へ
 - 「責任ある積極財政」をめぐる議論
- ✔ 問い：これからも財政の持続可能性は保てるのか

政府債務の定量分析 (Debt Sustainability Analysis)

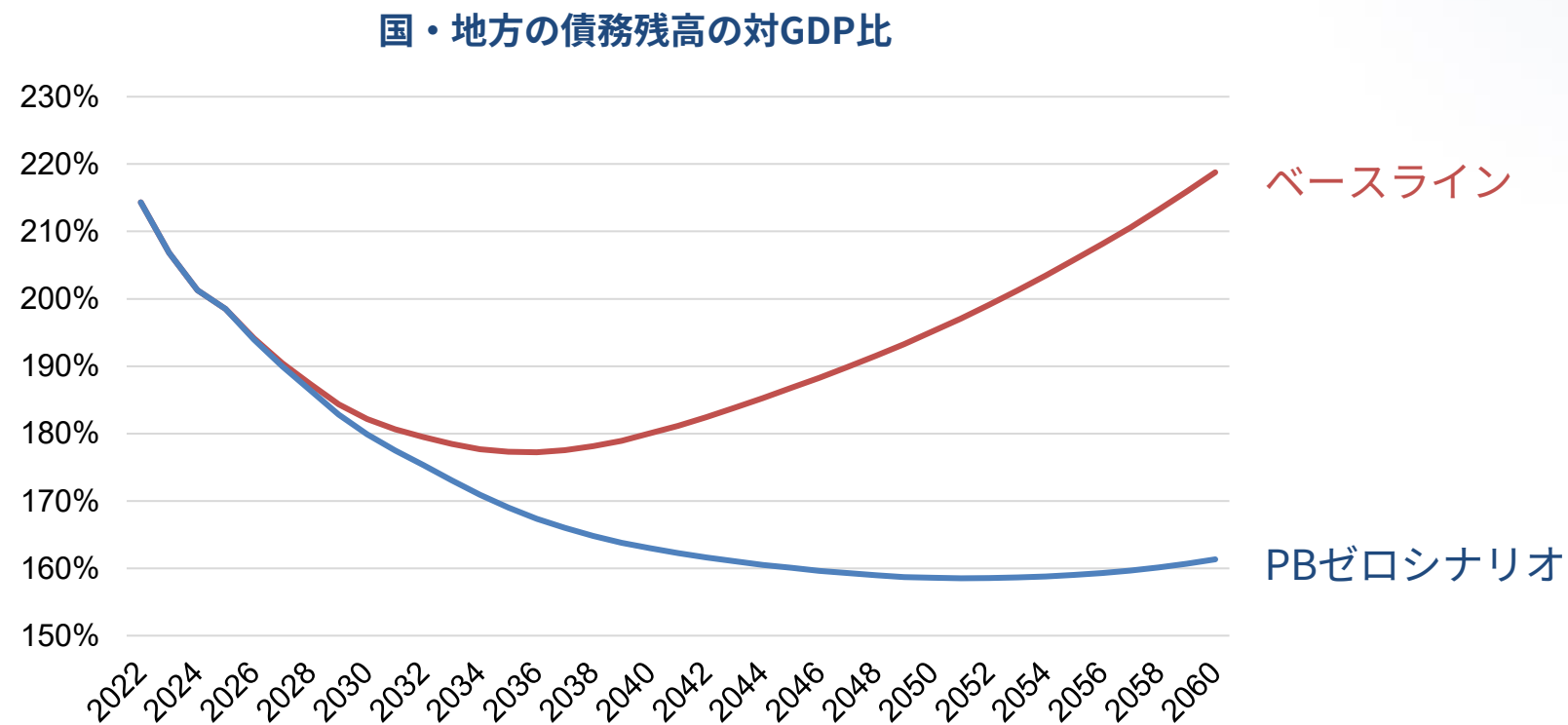
国・地方の債務残高の対GDP比



出所: Katagiri, Koeda, Miyamoto, Nirei, and Unayama (2025, Asian Economic Policy Review)

- ✓ インフレにより、当面は債務残高は低下する
- ✓ しかし、このままだと中長期的には財政は持続可能ではない

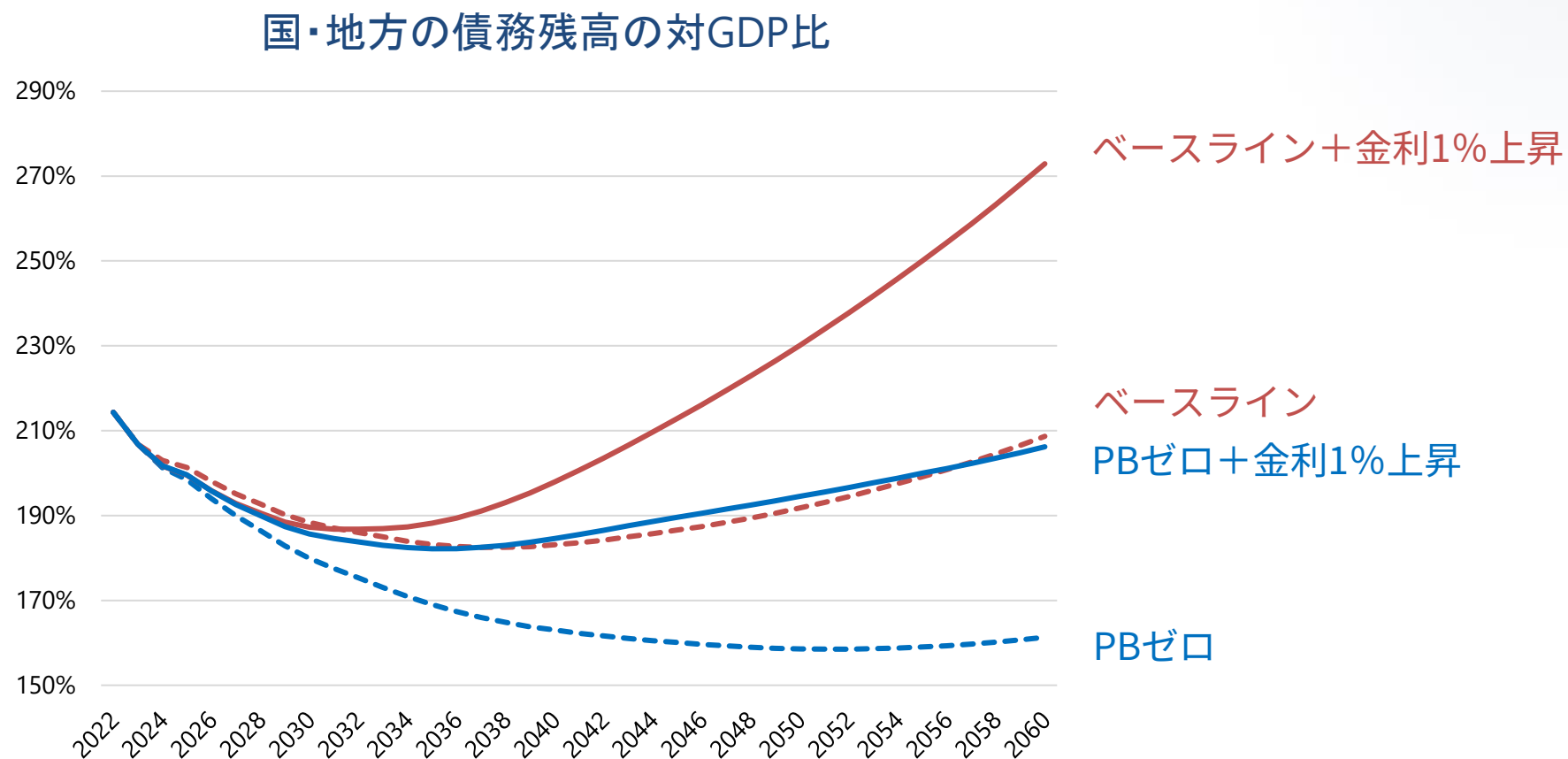
債務比率を安定化させるためには？



出所: Katagiri, Koeda, Miyamoto, Nirei, and Unayama (2025)

- ✔ 長期的に財政を持続可能にするには、2026年～60年に毎年GDP0.1%分の財政収支改善が必要

金利上昇は財政の持続可能性を厳しくする



Source: Katagiri, Koeda, Miyamoto, Nirei, and Unayama (2025)

- ✔ 債務比率上昇は更なる金利上昇につながる可能性も

財政政策で経済は成長するのか？

- ✔ 財政乗数：政府支出や税調整などの財政政策の変更がGDPに与える影響を示す指標

$$\text{財政乗数} = \frac{\text{GDPの変化量}}{\text{財政措置の変化量}}$$

- ✔ 短期的な財政政策効果だけでなく、中長期の効果も捉える
- ✔ 財政乗数は、景気循環や経済構造に左右されることが知られている

財政政策で経済は成長するのか？

- ✓ 最新の研究結果：
 - 日本では財政乗数が低下傾向にある
 - 高齢化、高債務、硬直的な労働市場は財政乗数を低下させる
- ✓ 財政政策の効果を高めるためにも、財政の持続可能性を高めることや構造改革が必要
 - 財政政策により経済を成長させ、結果として財政健全化を目指すのはナローパス。
 - 産業政策は、外部性や市場の失敗を通じた効果的な解決を妨げる場合、特定の目的に対し狭く絞って慎重に追求されるべき（一定の支援が正当化される場合もある）
- ✓ 日本経済が抱える根本的な問題は「新陳代謝」が滞っていること